

# 半世紀前からの 贈り物

〔今、蘇る「文集」〕

今号から、民間大使、内田雅敏氏のエッセイを連載します。氏に届いた懐かしい文集。それを読み返したとき、心の中に生まれたほのぼのとした思いを当時の蒲郡の様子とともにいきいきと綴っています。

小学校の同級生T・Iさんから「いつっぽしー2ー宝飯郡蒲郡町立南部小学校」と題された黄ばんだ紙を綴じた「文集」が送られてきた。今から約半世紀前、昭和28年12月24日に発刊された、私が通っていた現蒲郡南部小学校（通称「蒲南」）2年生のと

蒲都市民間大使  
内田雅敏プロフィール  
水竹町生まれ  
東京弁護士会所属  
著書「憲法読本」「戦後補償を考える」など多数

## 蒲郡のまちづくり

（都市計画マスター・プラン）



みかん仙人  
すなメリー

まちづくりは行政がやる  
んじゃないの？

「まちづくりは役所に任せ  
せておけば良い」とか、  
「気にはなるが、何していいか  
わからん」と、今まで、行政  
主導でまちづくりが進められ  
てきたんじや。ほんで、関係

者との合意が遅れる、事業が  
まち」をつくる、そう、まち

づくりの基本は、市民のみんなが「住み続けられる」まちをつくるいくことなんじや。そのためには、市民と行政が一緒になつて考えた行政が快適に暮らしていくことができるルール」が必要となつてくるんじや。

みんなの意向を反映し  
た・都市計画が必要って  
ことだね

都市計画は、将来のまちの姿を描いた市民の「夢」

のものとで暮らしていくよう、  
個人の権利を制限するルール  
でもあるんじや。だからこそ、  
まちのことを一番よく知っているみんなが、まちづくりの  
計画づくりから参加していく  
ことが大切なんじやよ。

市では、市民参加による都  
市マスをつくつて、みんなで一  
緒により良い蒲郡をつくつて  
いこうとしとる。わしが知つ  
るのはここまで。あとは、  
計画開発課で聞いてくれん。

きの文集だ。半世紀前のも  
だから、そつと扱わないとバ  
ラけてしまいそうだが、上質  
紙ではないものの、決して粗  
末なものではない。しかもガ  
リ版刷りではなく、立派な活版  
刷りである。「いつっぽし」  
というのは、同学年が5クラ  
スあつたからだ。

当時のクラス分けは、4月  
から生年月日順になつてい  
て、1クラス50人余りの大所  
帯であつたと思う。5クラス  
には、雪、月、花、松、竹と

いう洒落た名前が付けられ  
いた。生年月日順のクラス分  
けなので、竹組は、もつとも  
年少者の集まり、竹のよう  
にすくすく育つようという意  
味が込められていたのであ  
る。小学校の低学年のこと  
は、同学年であつても学力は  
ともかく、体力は、生まれた  
時期によつて、ずいぶんと差  
があつたものだ。

私は、昭和20年4月5日生  
まれなので、バリバリ（？）  
の雪組だった。（つづく）

みんなで考えまい！

（都市計画マスター・プラン）

まちづくりは行政がやる  
んじゃないの？

「まちづくりは役所に任せ  
せておけば良い」とか、  
「気にはなるが、何していいか  
わからん」と、今まで、行政  
主導でまちづくりが進められ  
てきたんじや。ほんで、関係

者との合意が遅れる、事業が  
まち」をつくる、そう、まち

まちづくりは行政がやる  
んじゃないの？

「まちづくりは役所に任せ  
せておけば良い」とか、  
「気にはなるが、何していいか  
わからん」と、今まで、行政  
主導でまちづくりが進められ  
てきたんじや。ほんで、関係

者との合意が遅れる、事業が  
まち」をつくる、そう、まち

まちづくりは行政がやる  
んじゃないの？

「まちづくりは役所に任せ  
せておけば良い」とか、  
「気にはなるが、何していいか  
わからん」と、今まで、行政  
主導でまちづくりが進められ  
てきたんじや。ほんで、関係

者との合意が遅れる、事業が  
まち」をつくる、そう、まち

まちづくりは行政がやる  
んじゃないの？

「まちづくりは役所に任せ  
せておけば良い」とか、  
「気にはなるが、何していいか  
わからん」と、今まで、行政  
主導でまちづくりが進められ  
てきたんじや。ほんで、関係

者との合意が遅れる、事業が  
まち」をつくる、そう、まち